

青年部会広報 絆 - K I Z U N A - No.014 2013.7

(一社)群馬県トラック協会青年部会広報委員会 編集・発行

★ 部会長より部会員のみなさまへ ★



一般社団法人群馬県トラック協会青年部会部会長の都筑でございます。
現在の運営体制がスタートして早1年が経ちましたが、昨年を振り返りますと部会長就任時のあいさつで述べた「部会の基本は仲間づくりと切磋琢磨」を実践するため、総務・研修・広報各委員会が一般部会員との接点となり、委員会を起点とした部会活動の展開に努めてまいりました。これまでの活動に加え、新たな取り組みとして東日本大震災被災地でのボランティア活動や青年経営者養成セミナーと、新たな活動にもチャレンジしました。
部会員の皆さまにおかれましても、日々忙しい中、活動に積極的に参加していただきましたこと、誠に有難うございます。

現在当部会は部会員177名になっています。多くの他都県では、高齢化による部会員の減少が課題となっています。当県も例外ではなく、近年は微増になっていますが、年齢構成から見ると数年後には同様の課題に直面します。今後の部会としては、幹事が中心となって、委員会活動をさらに活性化させ、部会員が興味を持って積極的に参加できる活動を企画し、推進していくことが大切であると思っています。

最後になりますが、正副部会長、委員長、幹事で力を合わせて「興味がもてる青年部会」を運営してまいりますので、積極的な活動参加を宜しくお願い致します。
(部会長 吾妻支部 都筑雅彦)

★ 総務委員長より部会員のみなさまへ ★



一般社団法人群馬県トラック協会青年部会総務委員長の土屋でございます。
青年部会員の皆さまには、日頃より当部会の活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、部会員数177名にまで増加した現在、総務委員会として昨年度の反省を踏まえつつ活動内容を充実させ、皆さまの期待に応えられるような活動になるよう日々務めております。

今年度7月以降の青年部会活動としては、7月には「平成25年度夏季研修交流会」、8月には「第39回ホリデーインまえばし」における「第18回働くトラック絵画コンクール受賞作品展示会&表彰式」、9月には「平成25年度第3回青年経営者養成セミナー」、10月には「平成25年度第2回トラックの森づくり」、11月には「平成25年度青年部会チャリティゴルフコンペ」等、この他にも多くの活動が予定されております。この部会活動を部会員全体で互いに刺激し合い、協力し合い、「絆」を深め合いながら成功させていきたいと思っています。部会員の皆さまが気軽に参加でき、心に残り身になる事業を今後も企画して行きたいと思っていますので、引き続きご協力いただき、各活動において同支部の部会員をお誘い合せのうえ、奮ってご参加下さいますようお願いいたします
(総務委員長 甘楽富岡支部 土屋茂雄)

☀ 平成25年度第1回青年経営者養成セミナーを開催 ☀

- 開催日 5月27日(月)
- 場 所 群馬県トラック総合会館
- 参加者 部会員30名

青年経営者としての経営管理力を向上させることを目的とした本セミナーは、昨年度から数えて3回目の開催となり、私自身、今回初めての参加となりました。

本年度第1回目のセミナーは、昨年度から引き続き㈱アイム・リサーチワーク代表取締役の木村哲也様を講師に迎え、「営業力強化①営業組織・営業の仕組みづくり」をテーマに、



会社の生命線である「売上高確保」に向けた営業組織・営業管理仕組みづくりの方法等について、ご指導を賜りました。

今回のセミナーは、私たち運送業界のお客様である荷主の立場から見た物流業界への意見や期待等をご自身の経験を踏まえてご講義いただき、今後の営業力強化に活かせる大変参考になる内容でした。

本年度2回目以降も事業経営に活かせるテーマが盛りだくさん組まれております。更にご自身の経営管理力を向上させたい部会員の方におかれましては、奮ってご参加下さい。

(渋川支部幹事 樺澤敏春)



🌿 第9回(平成25年度第1回)トラックの森づくりに参加 🌿

- 開催日 6月9日(日)
- 場 所 前橋市嶺公園内 群馬県トラックの森
- 参加者 部会員30名(総勢253名)

9回目となる群馬県トラックの森づくりは、過去最高人数の参加者となり、私自身としては4回目の参加でした。

当日は天候にも恵まれ、1時間半程度の下草刈り作業を行いました。他支部部会員の方々と一緒に作業を行いコミュニケーションしながら流す汗はとても爽快で、一緒に参加した子供たちも楽しそうに花の寄せ植えやお絵かき、竹とんぼ作りに熱中し、終了時に手渡されたご褒美にご満悦の様子でした。

これからも仲間達を誘って、この事業に参加し、ささやかですがCO2の削減に貢献して行きたいと思っています。

(大間々支部幹事 板橋俊介)



● 第25回（公社）全日本トラック協会青年部会関東ブロック大会に参加 ●

- 開催日 6月15日(土)
- 場 所 ホテルマロウド筑波
- 参加者 当県部会員15名（総勢251名）

（公社）全日本トラック協会青年部会が本年4月に正式設立後、初めての開催となる第25回（公社）全日本トラック協会青年部会関東ブロック大会に参加しました。国土交通省関東運輸局の奈良和美自動車交通部長様をはじめ多勢のご来賓を迎え、全国ブロック及び関東一円から総勢251名が集まり、3部に渡る研修会が行われました。

第1部では、佐久間恒好部会長から東日本大震災被災地への支援活動報告が行われました。震災直後に全国の青年組織で開始された義援金は、総額22,884,553円にもなり、その内22,112,308円が、救援物資やソーラー扇風機、電子黒板やiPadの購入や輸送、そして親子プロ野球観戦などの経費に支出されたことが報告されました。

第2部、流通経済大学法学部 野尻俊明教授による「トラック輸送産業の社会的役割と今後の展開について」の講演では、運輸（貨物）産業の社会的役割がますます増大し、トラック産業が国際化する中で、①行き過ぎた規制緩和の見直し、②書面化等適正取引の推進、③共同点呼、④荷主や協力会社と連携した業務統一化、⑤荷役作業における労働災害防止などが必要施策であるということが挙げられました。

第3部は、（株）プロデキューブ代表取締役高柳勝二による講演「ルールを守るドライバーを育てる～中小運送会社の管理者奮闘記～」を拝聴しました。

講師はドライバーや管理者教育の講師を務めた事例を中心に話をされました。その中で、社内ルールの必要性について述べておりました。具体的には、ルールを決めて、効果が出る表現等で運用にも配慮することで、日々のサービス品質が上がり、見せる仕事をする事で、お客様に関心や好意をもってもらえる体質になっていくことを次のように挙げていました。

①ドライバーの健康守るために交通事故を防ぎ、生活を守るために品質を向上させること、②物流の品質とは、人の品と作業の質、③品質は団体戦で、安全は個人戦という独自のわかりやすい捉え方も提示いただきました。

研修後、今秋の関東トラック協会青年部会研修見学会開催地である神奈川県の下木運営事務より大会宣言が述べられ、参加者一同承認し、決意を新たにして茨城県の坂本副部会長より閉会宣言を行い閉会しました。

また、研修会終了後の交流会では、アトラクションの1つとして関東1都7県から出品を募り、「東日本大震災復興支援チャリティオークション」を茨城県中島利安部会長が進行役となり開催しました。

当県からは、「ぐんまちゃん」と「高崎だるま」のコラボ商品「ぐんまちゃんだるま」を出品し、見事高額で落札していただきました。落札していただきました神奈川県の山下恭弘様、誠に有難うございました。

（安中支部幹事 新井規之）



● 前橋支部 わんぱく相撲前橋場所の運営に参加 ●

- 開催日 6月2日(日)
- 場 所 前橋市敷島公園内 土俵
- 参加者 部会員13名

私たち前橋支部青年部会員は、敷島公園内の土俵にて行われた「第17回わんぱく相撲前橋場所」の運営に参加致しました。

当日は、大会設備の用意や設営、選手誘導、競技時の副審などの運営を担当しました。また、大会記念のタオル・働くトラック絵の下敷き等の参加賞の配布、副賞としてお米の提供など、大会に密着した活動を行ってきました。

今年は参加者92名と例年より少ない人数でしたが、東関部屋から東関親方をはじめ、振分親方(高見盛関)、華王錦、富士寿4名の方々が駆けつけてくれた為、例年以上の盛り上がりを見せていました。

なお、4年生、5年生、6年生それぞれの優勝者は、7月28日に行われる「第29回わんぱく相撲全国大会」に出場致します。
(前橋支部部会員 岡田邦広)



● 吾妻支部 第25回交通・労災事故防止総決起大会を開催 ●

- 開催日 6月15日(土)
- 場 所 中之条ツインプラザ
- 参加者 部会員10名(総勢199名・内子供 37名)

これまで北毛三支部合同で開催してきた労災事故防止総決起大会を今年からは支部ごとに開催することになり、初めてとなる吾妻支部単独での大会となりました。

第1部では、優良運転者表彰式等を行い18名の方が表彰されました。

第2部では、青年部が交通事故防止の取り組みとして作成した「吾妻地区危険箇所マップ」を安原運輸有限会社 安原新部会員が発表をおこない、経験豊富なトラックドライバーから情報収集し作成した危険箇所を参加した一般ドライバーにも知っていただき、安全運転を呼びかけました。続いて同会場にて展示した「働くトラック絵画コンクール」の表彰式を行い76作品の中から選ばれた8名の子供たちが佐藤支部長より賞状と記念品を授与されました。

第3部では、アトラクションとして、群馬県警察音楽隊の迫力ある演奏に盛り上がる中、閉会となりました。
(吾妻支部幹事 大津和仁)



■ 渋川支部 東日本大震災被災地復興支援ボランティア活動及び視察研修会を開催 ■

- 開催日 5月11日(土)
- 場 所 宮城県本吉郡南三陸町
- 参加者 部会員7名(総勢8名)

渋川支部青年部会では、県青年部会の都筑部会長に同行いただき、宮



城県（南三陸町）での災害ボランティア活動を体験してまいりました。

ボランティア活動では、農地復旧を担当し畑の中で細かい瓦礫をひたすら拾いつづけるという根気のいる作業を行い、ほどなくして畑の側を流れる川の藪に移り残った瓦礫の撤去作業を小雨のなか一生懸命行いました。

ボランティア活動を行った南三陸町の災害ボランティアセンターのホームページには、「南三陸町は、2011年3月11日の大津波の被害が甚大で町の62%（市街地で75%）もの家屋が損壊しました。2年が過ぎた現在では、重機も入り基礎も撤去されつつありますが、まだ人の手を必要としているものがあります。養殖漁業の支援・農地復旧をはじめとする農業支援も必要とされています。それらのニーズに応えるためには、より多くのボランティアさんの支援が不可欠です。」と同町の現状が掲載されています。まだ完全な復興とはいきません。より多くの支援が必要となっていますので、再び南三陸町でのボランティア活動に参加し、被災地の復興に携わりたいと思いました。（渋川支部部会員 金井敬仁）

■ 平成25年度上半期主要スケジュール案内 ■

7月18日(木)	第18回働くトラック絵画コンクール作品選考会
7月20日(土)	第25年度夏季研修交流会
8月24日(土)	第39回ホリデーインまえばし準備日
8月25日(日)	第39回ホリデーインまえばし当日
〃	第18回働くトラック絵画コンクール展示会及び表彰式
9月 4日(水)	平成25年度第3回青年経営者養成セミナー

◆ 参加者募集！ 第18回働くトラック絵画コンクール作品展示会及び表彰式開催のご案内 ◆

- 開催日 8月25日(日)
- 場 所 前橋市敷島公園内
トラック協会ブース及び
ホリデーインまえばしメインステージ

本年度も来る8月25日(日)に開催されます、第39回ホリデーインまえばしにおいて、「第18回働くトラック絵画コンクール作品展示会及び表彰式」を行います。毎年部会員の皆さまには、前日の準備作業から多くの方々に参加いただいております。

当日においては、様々なアトラクションの実施に多くの部会員の協力が必要となりますので、是非興味のある部会員におかれましては奮ってご参加をお願いします。
(事務局 武井脩平)



■ 新規加入部会員 ■

- ◆田中大樹 (前橋支部 大畑運輸(株))
- ◆木村篤史 (前橋支部 木村運輸(株))
- ◆宮下 学 (前橋支部 清水商運(株))
- ◆半澤冬樹 (前橋支部 (有)斎藤貨物)
- ◆原 卓也 (前橋支部 東群運送(株))
- ◆井上安弘 (前橋支部 日本通運(株)群馬支店)
- ◆町井匡男 (大間々支部 (有)エム・エス)
- ◆手塚英太郎 (桐生支部 (株)石島運輸倉庫)
- ◆長谷川貴信 (桐生支部 長谷川運送(株))
- ◆水井 悟 (藤岡支部 鬼石運輸(株))
- ◆朝比奈將臣 (渋川支部 朝比奈運送(株))

※敬称略 平成25年7月現在 177名



新規部会員募集中!!



青年部会では新規部会員を随時募集しています。

本年度も青年経営者のための研修事業や交流事業、社会貢献事業等の活動を展開していきますので、青年部会に興味のある方は、事務局または青年部会幹事までお気軽にご連絡下さい。

みなさまのご参加をお待ちしています。

事務局(永井・武井) TEL027-261-0244

⊕ お知らせ 群ト協青年部会ウェブページのご案内 ⊕

青年部会では、群ト協ホームページ内に青年部会ウェブページを公開しています。活動予定や活動状況等、様々な情報を適宜更新して参りますのでご活用願います。

なお、ウェブページに関するご意見、アイデア等は青年部会事務局へご連絡下さい。

➡ 群ト協青年部会ホームページ <http://www.gta.or.jp/seinen/index.html>



お勧めの一冊

生き残る物流～動脈硬化を起こしつつあるトラック輸送業界に未来はあるか～(佐藤冬樹 著)



トラック輸送業界を取り巻く経営環境は長年の不況に伴い大変厳しい状況が続いており、その閉塞状況を打開する為のヒントになる作品だと思います。流通の中の運送会社の立ち位置や荷主を取り巻く環境、業界の将来について書かれています。

(副部会長 館林支部 磯野哲也)

佐藤冬樹：1959年大宮下町生まれ。中央大学法学部法律学科卒。編集者、リサーチャーを経て、94年に(株)社会構想研究所を設立。流通業、物流業の労働調査やコンサルティングに携わる一方、在土ウチナーンチュ・コミュニティの生活史やジェンダー論教育などもまとめる。労働省労働研修所講師を兼務



健全経営を目指して

失敗を恐れず、本気でつきあえる仲間づくりと情報交換の場を創造する。

一般社団法人群馬県トラック協会青年部会

